看護小規模多機能型居宅介護 ケアホーム希望





K**87K**D1*, K8 7K**87K**D1*, K8

(株)つつじヶ丘在宅総合センター 〒182-0006 調布市西つつじヶ丘2-19-6

2 03-5315-5722

第三コーポ横田 1F



介護保険改悪の危険浮き彫り

あれだけ世の中を揺るがした「舛添都知事騒動」が鎮静化して くると世間は、次期都知事選に盛り上がる。少子高齢化社会を迎え、子どもや高齢者問題は大き なウェイトを占める。インターネットに自分の子どもが保育園に入れなかったことを非難し、

A1, K8 X K1* K8 X K4 * K1*, K8

「日本死ね」等と言う言葉に反応したかは不明であるが、国は保育士の給料を上げ、保育環境を良くする政策を提示する「待機児童ゼロ」を掲げているが、その具体策、財源はどうするのか? 大都市東京は超高齢化が進み、待機高齢者が多いため特別養護施設を建てる政策を掲げているが、介護職が不足している。現在、どの施設も全稼働していないのが現状である。

介護保険制度の改正により、平成27年4月から介護職の処遇改善加算が追加され、介護職の 賃金アップが図られているが、とうてい世間並みの給料には及ばない。

そして、介護の現場は きつい、汚い、給料が安い、そして…過酷な労働である。

排泄の世話から食事、入浴介助、動けない高齢者の移動介助で、介護職は日々体力との闘いであり、腰痛で悩むことが多い。

『ケアホーム希望』の毎日も忙しい。手作りゼリーやスイカ、 アイスクリーム、スポーツドリンクなどの飲料水で、この暑い夏 を脱水にならないようにと、水分を必死で利用者に摂らせる ことから仕事が始まる。また自ら飲んだり、食べたりできない 利用者には介護職が付ききりで介助する。

看護師は自宅で排便すると家族に負担が掛かるからと「通い」 や「泊まり」のサービス利用時に浣腸や摘便を行う。

> 介護職は失禁や汗で皮膚がかぶれないようにと汗だくになりお風呂に入れている。調理師は低栄養にならないように試行錯誤し、メニューに頭を痛めながら、美味しく食べてもらいたいと 毎日工夫している。

利用者が自宅にいる時も安心して生活できる

ように、看護師や介護職が訪問したり、夜中の緊急時にも対応している。 過酷な労働であっても、この仕事に就いている人たちの志は高い。 介護ロボットの開発や導入が進んでも「生の人間」を介護ロボットが どこまで対応できるのだろうか?

舛添厚生労働大臣の時に母の介護体験を語った「母に襁褓(おむつ)をあてるとき」がベストセラーとなり、都知事になった時は、誰もが介護問題を何とかしてくれると期待したはずだ。 都民の税金で家族旅行に行ったり、美術品の購入、外遊ではファーストクラスにスイートルー

> ムにと、わずか2年で2億円以上もの血税を消費した。豪華な出張に都民ばかりか日本国民全体が怒ったのは当然である。そしてこうした問題は不明瞭なままに…。 私たちがあくせく働いた税金を今度の都知事に託すことはできるのだろうか?

年を取っても病気になっても平和な日々が送れますように…



東京都知事選平成28年7月31日





